

## 【宇宙衛星事業の広報】

# 産官学連携による日・ルワンダ合作の衛星事業(ルワンダ)

開催日： 令和元年10月8日

場 所： キガリ市内ホテル

主催(共催)： 大使館、ルワンダICT・イノベーション省、ルワンダ公共事業規制庁(RURA)

協力： JICAルワンダ事務所

### 【概要】

- 東京大学、ルワンダICT・イノベーション省、ルワンダ公共事業規制庁(RURA)が共同事業で製作したルワンダ初の人工衛星RWASAT-1が、9月24日にJAXAによって種子島国際宇宙センターから打ち上げられたことを発表する合同記者会見を開催。
- RWASAT-1は、福井県の企業4社(山田技研, セーレン, 春江電子, 鯖江精機)の技術を駆使し、福井県工業技術センター内の宇宙技術実験施設にて製造された超小型衛星である。日・ルワンダにおける産官学連携の事業例として紹介した。
- ルワンダ側からは、ポーラ・インガビレICT・イノベーション大臣、ニリシエMARURA事務局長が登壇した。
- ルワンダは農業国であるが、洪水被害や雷害などの自然災害に見舞われることが多く、現地報道は、ルワンダ初の衛星事業参加及び防災・農業分野での活用を賞賛した。
- ルワンダ人技術者約80名が、宇宙事業分野における日本の高い技術力を修得するために日本で研修を受けていることに対し、メディアから高い関心が寄せられた。
- 超小型衛星が比較的安価に製作でき、同分野におけるルワンダ初の試みに期待が寄せられた。

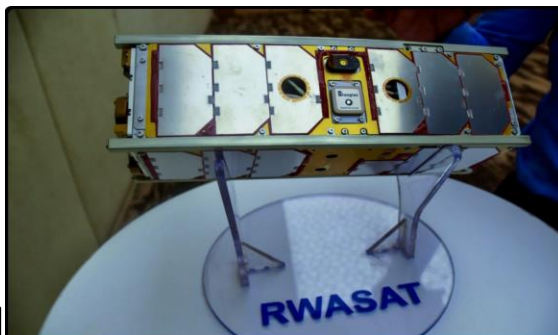
在ルワンダ大使館



合同記者会見の様子



左からニリシエMARURA事務局長、インガビレICT・イノベーション大臣、宮下前大使、福与東京大学特任准教授



RWASAT-1のレプリカ



インガビレICT大臣の発表